



人を笑顔にできる人～「察する力」～

1年1組担任 上村 昌大

授業を終えた私が男子の更衣場所の前を通りかかると部屋の鍵が開いていました。そこで私は、「ちゃんと閉めなあかんやん」と注意をしたのですが、それは大きな誤解でした。実は体育を終えて早々に帰ってきた鍵を持ったとある男子生徒が、鍵を開けてみんなが早く着替えられるようにした上で、トイレに行っていたのです。それを聞いた私は大いに反省したのと同時に、その気遣いにとても感動しました。また、同じ日の13時半頃に所用があり、車で学校を出ようと正門の前に行くと、3年生がちょうど門を閉めて5mほど進んだところに出くわしました。すると、その人はもう一度戻って、門を開け、「閉めておきますので、大丈夫ですよ」と窓を開けてお礼を言う私に笑顔で返してくれました。私はもう一度「ありがとう」と伝え車を走らせたのですが、運転しながらとても心地よく自然と笑顔になれました。

集団生活をしていくうえで人の行動や気持ちを「察する」ことができると、みんなが幸せになります。「この言葉を聞いた人はどう思うかな。」「これをしてどうなるのかな。」「(自分に近い人だけでなく、)周りにいる人はどう感じるのかな。」そんな考えを持って行動できたら、きっと素晴らしい集団になれると思います。国語の授業の中でも出てきたように、147回生のみなさんが、「相手の立場を想像し、自分の言動を創造することができる人」になってほしいなど感じた1日でした。



10/3(金) 1年生は、展示を担当。6月に大阪関西万博にみんなでいったことを受けて、『県商万博』と題して、各クラス展示を作りました。

第1位 6組・第2位3組・第3位1組

(クウェート) (シンガポール) (きれいな海を守ろう)

「初めてづくめ」 1組 S・Y

中学2年から、中学3年の2学期まで5期連続で図書委員を務めた経験を持つ僕が、県商に入学してからいきなり、文化委員に転身し、主に県商に県商祭のクラス展示のことでの慣れないながらも様々な仕事をしていました。

何もかも、初めてづくしだったけど、担任の先生やクラスのみんなの協力のおかげで、クラス展示の部門で3位を取ることができたので、感謝とともに、僕の不手際でクラスのみんなを振り回してしまったことへの申し訳なさが湧いてきた。だけど、初めて文化委員になって、もらったたくさんの刺激を糧に、次も頑張ることができたらいいなと思う。



「文化祭で学んだ事」 2組 D・K

今回、初めての文化祭でしたが、いい雰囲気で行事に取り組めたと感じました。出し物を何にするかや、何を作るかなど、クラスみんなで話し合うことができました。この経験を通じて、協力や団結の大切さを学ぶことができました。次の体育大会も、クラスのみんなで楽しく行事に取り組んでいきたいです。



「笑顔が咲いた県商祭」 3組 K・K

今年の県商祭では、クラス全員で協力して準備を進めました。意見が合わなかったり、話し合いが進まなかつたりましたが、話し合いを重ねて一つにまとめることができました。文化委員は、とても大変でしたが、2位をとれてとてもいい思い出になりました。県商祭を通じて、協力することの大切さと仲間と心を通わせる喜びを深く学びました。この経験を生かして、これからも前向きに頑張っていきたいです。



「みんなで頑張った県商祭」 4組 T・R・M・Y

僕たちのクラスは、世界の食文化を特集しました。世界の食文化は、クラスでは、悲しいですが、少し不評でしたが、県商祭の準備ではだいたいの班は、展示完成に向けて頑張っていました。教室にちゃんと展示ができるのか…の心配もありました。ですが、県商祭当日にはたくさんの人たちが展示を見に来てくれました。自分たちの展示を通して、少しでも世界の食文化に興味を持つてもらえたなら良かったと思います。



「みんなで作り上げたアメリカの世界」 5組 O・M・M・T

文化祭では「アメリカ」をテーマにしてクラス全体で協力して準備を進めました。みんなで楽しみながら意見を出し、アメリカ風の車や顔出しパネルを作りました。教室の外観や内装も工夫してアメリカの雰囲気を感じられる明るい空間にしました。準備は大変だったけれど、全員で力を合わせて取り組み、大きな達成感を感じました。

当日は多くの人に楽しんでもらえてうれしかったです。今回の文化祭を通して、協力することの大切さを学びました。次の行事にもこの経験を生かしていきたいです。



「焦りからの大逆転」 6組 T・R

私たちの学年は、文化祭で『万博』をテーマに各クラスが一つの国やテーマを担当しました。私たちのクラスは、クエストをテーマに、クイズ迷路を作りました。準備を本格的に始めたのは、文化祭の前日で、時間がなく焦りました。意見がぶつかる場面もありましたが、全員で協力し合い、最後まで諦めずに完成させました。当日、200人以上の人々が迷路を楽しんでくれて、学年でも優勝でき、高校生活最初の文化祭が、とてもいい思い出になりました。この経験を通して、仲間と協力する大切さを改めて感じました。



「協力した県商祭」 7組 S・M

7組では的当て・旗上げ・フォトスポット・推理ゲームの4つを行いました。万博の行動班を活用して、4つのグループに分かれて作業しました。最初はあまり準備が進んでいなかったので、不安になりました。けど、準備が終わった班や、人数が足りていて手伝える人が他のグループの手伝いや、クラス全体の飾りつけなどをして助け合えていたので、クラスがまとまっていたと思います。この県商祭で深まった絆を生かして、体育大会や球技大会などのイベントも頑張っていきます。



「有志の活動を通して」 1組 K・M

私は今回の文化祭で一年生のフロア作りに有志として参加しゲートを作りました。最初は「なんか楽しそう！」という軽い気持ちで参加しました。ですが、いざやり始めると、思っていた以上に仕事が多く、19・20時まで残ることもありました。だけど私はやって良かったと思っていますし、次また同じような機会があれば協力したいとも思っています。理由は2つあります。1つ目は、友達や先生とどうすれば良いか考えながら少しづつ完成に近づいていくゲートを見るのが楽しかったからです。また、協力しているので自然と会話が増え、仲を深めることもできました。2つ目は達成感です。有志と先生方みんなで支えながらアーチの上部分と柱を繋げた瞬間はこれまでの頑張りがすべて報われるような気持ちになりました。「有志なんて…。」とか「面倒そう…。」と思うのもわかりますが、ぜひ、参加してみてください。

県商万博マスコットキャラクター デザイン 「デンタくん誕生」 2組 M・K

県商祭マスコットキャラクターの“デンタくん”は、私一人ではなく、みんなで考えたキャラクターです。名前を考えてくれたり、色を考えてくれたり、力を合わせて作ったので、投票で選ばれた時はとても嬉しかったです。サングラスに「県商」を入れて目立たせてみたり、ポーズを工夫してみたり、学ランにしてみたり、そのキャラクターを印象強くするために、白と黒をメインにして、難しそうないデザインにしました。缶バッヂや顔出しパネルも作っていただいたので、みんなの記憶に残ったらしいなと思います。



編集者の独り言 先日、大阪関西万博が閉幕しました。来場者の8割以上が、「満足した」「期待以上」と答えています。みんなはどうでしたか？開幕前はあんなにネガティブな意見が多かったのにね。やっぱり、何事も、自分の足で行って、自分の目で見てみないとダメですねー。そうそう、閉幕式に、なんと1年生が出ていたらしいですよ。国旗持って行進したんだって♪ 校外で活躍する人がたくさんいてとても嬉しい♡